



7月15日 金魚の館

『七夕かざりに願いを込めて』

6月 定例議会

24年度 一般会計補正予算を可決	2P
一般質問 9人が登壇し町政を問う	4P
追跡レポート あん質問はどがんだった	14P
町民のひろば	16P

1億4997万円を追加

総額58億8697万円

平成24年度第2回定例会は

6月25日開会し、28日まで開かれた。

全議案可決された。

一般会計補正予算

【主な質疑】

問 (磯野議員)
介護基盤緊急整備特別対策事業補助金、今年度の4施設はどこを整備するのか。

答 (福祉保健介護課長)
腹赤新町区、赤崎区、古城区、駅通り区を予定している。

問 (樋口議員)
障がい者特別対策事業補助金の内容は、(福祉保健介護課長)

答 (福祉保健介護課長)
障がい者自立支援法の円滑な実施及び移行促進対策を図るために、事業者に対して法改正に伴う激変緩和、新体系移行に係る経過的な支援を行うとともに、障がい者の生活支援を目的とするものだ。

問 (樋口議員)
町内の事業者は何か。

答 (福祉保健介護課長)
月額18万円の事業総額ということで町内一カ所で、事業所はひまわりの里だ。

問 (樋口議員)
生活・介護支援サポートー養成事業委託料は昨年と同じなのか。

答 (福祉保健介護課長)
基本的にはシルバーヘルパーさんが中心となるが一般の方も広くお願いして、昨年は50名だったが、今年は30名を対象にしている。

問 (浜村議員)
くまもと稼げる園芸産地育成対策事業補助金の内容は、

一般会計補正予算の主な事業

事業名	予算額(万円)	事業概要
コミュニティ事業	250	宝くじの普及広報事業費受託事業を財源として、コミュニティの健全な発展を図る目的で腹赤新町区にワイヤレス放送システムを整備
ふれあい地区社協活動支援事業	660 (20万円×33カ所)	社会福祉協議会が地域で構築している「ふれあい地区社協」の活動に必要な備品等の購入費用
徘徊SOSネットワーク構築事業	450	認知症サポーター養成講座や認知症疾患医療センターとの相談会等を開催。認知症理解の普及活動や支援を行う
地域密着型サービス拠点等施設整備事業	2750 (500万円×4カ所) (750万円×1カ所)	介護基盤緊急特別対策事業を活用し、高齢者が安心して地域で介護予防活動ができるように介護予防拠点として各公民館等を整備する
くまもと稼げる園芸産地育成対策事業	346	ミニトマト施設園芸において、新規建設するハウスに暗渠排水を整備し、既設ハウスに循環扇を整備し、生産の安定化及び経営安定を図る。

答 (建設農政課長)
長洲町の場合、暖房効率向上のための循環扇を107基、新規ハウスの拡張、そのための暗きよ排水を3戸で7

500㎡で補助率はどちらも3割である。

問 (浜村議員)
コミュニティ事業助成金の内容は、

答 (まちづくり課長)
現在の有線放送、これをワイヤレス放送システムに変えるもので今回は、腹赤新町区で10カ所目だ。

平成24年度

全員賛成で
可決

一般会計補正

災害や緊急情報をいち早く町民へ 防災行政デジタル無線施設を整備

〔内容〕

防災行政デジタル無線施設整備工事

〔主な質疑〕

〔磯野議員〕

このプロポーザルの選定メンバーは。

〔総務課長〕

副町長、総務課長他3課長と元自衛官の方、有明消防本部総務課長の7名である。

〔磯野議員〕

日本電気株の他自治体での設置実績は。

〔総務課長〕

全国57か所の実績があり、県内では甲佐町・宇城市・菊陽町・山鹿市・苓北町がある。

〔市原議員〕

災害時に停電した時はどうなるのか。

〔総務課長〕

こちらの条件では48時間以上としていたが、日本電気株の場合72時間大丈夫と提案された。

〔市原議員〕

町内役場機能が災害でストップした場合はどうなるか。

〔総務課長〕

今回のシステムは遠隔制御ができ、消防本部にも制御卓を設ける。

〔池上議員〕

震度7で設計されているかどうかはわからないのでは。

〔総務課長〕

提案書のなかに風速60メートルと震度7と明記されている。

〔川本議員〕

子局の21局はすべてが提案してきているのか。

〔総務課長〕

募集要領のなかで21カ所としていたが、磯町から新山にかけて1カ所追加した。

〔川本議員〕

西風が吹いたら海で作業している人には聞かない。漁協などにも設置すべきでは。

〔町長〕

設置個所については、もう一度慎重に判断したい。

〔永田議員〕

長洲の地盤には非常に悪いところがある。みんな同じような基礎では困る。

〔総務課長〕

全地盤の調査はさせたい。そのうえで業者と協議し設置したい。

〔福永議員〕

業者選定委員会に行政機関の一員ではない人が入っているがなぜか。

〔総務課長〕

危機管理を専門にしている有識者をお願いした。

条例の改正

●住民基本台帳法の一部を改正する法律及び出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特別法の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

●本町における関係条例を一括改正するもの

〔主な質疑〕

〔川本議員〕日本に勉強や労働や研修に来られた外国の方にも日本国民と同じように扱うという体制なら前進かなと思っが。

〔町長〕外国の方が働きに来て、日本で安心して働けるような環境づくりにも取り組んでいかなければならない。

〔福永議員〕寄附される町との財産になる。その取扱いはどのようになっているのか。

〔下水道課長〕寄附を受けた浄化槽は町の財産となるが、仮に財産処分するときの細やかな規定は設けていないので、今後財産処分に関する規定を設け、対処していく。

〔福永議員〕寄附される町との財産になる。その取扱いはどのようになっているのか。

〔下水道課長〕寄附を受けた浄化槽は町の財産となるが、仮に財産処分するときの細やかな規定は設けていないので、今後財産処分に関する規定を設け、対処していく。

〔福永議員〕寄附される町との財産になる。その取扱いはどのようになっているのか。

〔下水道課長〕寄附を受けた浄化槽は町の財産となるが、仮に財産処分するときの細やかな規定は設けていないので、今後財産処分に関する規定を設け、対処していく。

〔福永議員〕寄附される町との財産になる。その取扱いはどのようになっているのか。

〔下水道課長〕寄附を受けた浄化槽は町の財産となるが、仮に財産処分するときの細やかな規定は設けていないので、今後財産処分に関する規定を設け、対処していく。

〔福永議員〕寄附される町との財産になる。その取扱いはどのようになっているのか。

〔下水道課長〕寄附を受けた浄化槽は町の財産となるが、仮に財産処分するときの細やかな規定は設けていないので、今後財産処分に関する規定を設け、対処していく。

〔福永議員〕寄附される町との財産になる。その取扱いはどのようになっているのか。

〔下水道課長〕寄附を受けた浄化槽は町の財産となるが、仮に財産処分するときの細やかな規定は設けていないので、今後財産処分に関する規定を設け、対処していく。

〔福永議員〕寄附される町との財産になる。その取扱いはどのようになっているのか。

〔下水道課長〕寄附を受けた浄化槽は町の財産となるが、仮に財産処分するときの細やかな規定は設けていないので、今後財産処分に関する規定を設け、対処していく。

〔福永議員〕寄附される町との財産になる。その取扱いはどのようになっているのか。

〔下水道課長〕寄附を受けた浄化槽は町の財産となるが、仮に財産処分するときの細やかな規定は設けていないので、今後財産処分に関する規定を設け、対処していく。

〔福永議員〕寄附される町との財産になる。その取扱いはどのようになっているのか。

〔下水道課長〕寄附を受けた浄化槽は町の財産となるが、仮に財産処分するときの細やかな規定は設けていないので、今後財産処分に関する規定を設け、対処していく。

〔福永議員〕寄附される町との財産になる。その取扱いはどのようになっているのか。

〔下水道課長〕寄附を受けた浄化槽は町の財産となるが、仮に財産処分するときの細やかな規定は設けていないので、今後財産処分に関する規定を設け、対処していく。

〔福永議員〕寄附される町との財産になる。その取扱いはどのようになっているのか。

〔下水道課長〕寄附を受けた浄化槽は町の財産となるが、仮に財産処分するときの細やかな規定は設けていないので、今後財産処分に関する規定を設け、対処していく。

〔福永議員〕寄附される町との財産になる。その取扱いはどのようになっているのか。

〔下水道課長〕寄附を受けた浄化槽は町の財産となるが、仮に財産処分するときの細やかな規定は設けていないので、今後財産処分に関する規定を設け、対処していく。

〔福永議員〕寄附される町との財産になる。その取扱いはどのようになっているのか。

〔下水道課長〕寄附を受けた浄化槽は町の財産となるが、仮に財産処分するときの細やかな規定は設けていないので、今後財産処分に関する規定を設け、対処していく。

い、関係字句を削除。

●長洲町浄化槽施設整備事業に関する条例の一部改正

●高田・鷺巣・赤田の公民館に設置された合併浄化槽を町で管理するため、町に寄附申請できるように改正

〔福永議員〕寄附される町との財産になる。その取扱いはどのようになっているのか。

〔下水道課長〕寄附を受けた浄化槽は町の財産となるが、仮に財産処分するときの細やかな規定は設けていないので、今後財産処分に関する規定を設け、対処していく。

〔福永議員〕寄附される町との財産になる。その取扱いはどのようになっているのか。

〔下水道課長〕寄附を受けた浄化槽は町の財産となるが、仮に財産処分するときの細やかな規定は設けていないので、今後財産処分に関する規定を設け、対処していく。

〔福永議員〕寄附される町との財産になる。その取扱いはどのようになっているのか。

〔下水道課長〕寄附を受けた浄化槽は町の財産となるが、仮に財産処分するときの細やかな規定は設けていないので、今後財産処分に関する規定を設け、対処していく。

〔福永議員〕寄附される町との財産になる。その取扱いはどのようになっているのか。

〔下水道課長〕寄附を受けた浄化槽は町の財産となるが、仮に財産処分するときの細やかな規定は設けていないので、今後財産処分に関する規定を設け、対処していく。

〔福永議員〕寄附される町との財産になる。その取扱いはどのようになっているのか。

〔下水道課長〕寄附を受けた浄化槽は町の財産となるが、仮に財産処分するときの細やかな規定は設けていないので、今後財産処分に関する規定を設け、対処していく。

〔福永議員〕寄附される町との財産になる。その取扱いはどのようになっているのか。

〔下水道課長〕寄附を受けた浄化槽は町の財産となるが、仮に財産処分するときの細やかな規定は設けていないので、今後財産処分に関する規定を設け、対処していく。

〔福永議員〕寄附される町との財産になる。その取扱いはどのようになっているのか。

〔下水道課長〕寄附を受けた浄化槽は町の財産となるが、仮に財産処分するときの細やかな規定は設けていないので、今後財産処分に関する規定を設け、対処していく。

〔福永議員〕寄附される町との財産になる。その取扱いはどのようになっているのか。

〔下水道課長〕寄附を受けた浄化槽は町の財産となるが、仮に財産処分するときの細やかな規定は設けていないので、今後財産処分に関する規定を設け、対処していく。

〔福永議員〕寄附される町との財産になる。その取扱いはどのようになっているのか。

〔下水道課長〕寄附を受けた浄化槽は町の財産となるが、仮に財産処分するときの細やかな規定は設けていないので、今後財産処分に関する規定を設け、対処していく。

〔福永議員〕寄附される町との財産になる。その取扱いはどのようになっているのか。

〔下水道課長〕寄附を受けた浄化槽は町の財産となるが、仮に財産処分するときの細やかな規定は設けていないので、今後財産処分に関する規定を設け、対処していく。

〔福永議員〕寄附される町との財産になる。その取扱いはどのようになっているのか。

〔下水道課長〕寄附を受けた浄化槽は町の財産となるが、仮に財産処分するときの細やかな規定は設けていないので、今後財産処分に関する規定を設け、対処していく。

〔福永議員〕寄附される町との財産になる。その取扱いはどのようになっているのか。

〔下水道課長〕寄附を受けた浄化槽は町の財産となるが、仮に財産処分するときの細やかな規定は設けていないので、今後財産処分に関する規定を設け、対処していく。

〔福永議員〕寄附される町との財産になる。その取扱いはどのようになっているのか。

〔下水道課長〕寄附を受けた浄化槽は町の財産となるが、仮に財産処分するときの細やかな規定は設けていないので、今後財産処分に関する規定を設け、対処していく。

〔福永議員〕寄附される町との財産になる。その取扱いはどのようになっているのか。

〔下水道課長〕寄附を受けた浄化槽は町の財産となるが、仮に財産処分するときの細やかな規定は設けていないので、今後財産処分に関する規定を設け、対処していく。



永田則人議員

港周辺の整備は

答 長洲上区から名石浜まで

問 長洲港周辺基本整備計画の策定業務内容は。

答 (町長)

長洲港周辺の将来像や施設整備、今後の方向性などを内容とするもの。

問 港周辺の将来性、整備の方向性、その中身は。

答 (町長)

新山の海岸から長



長洲港周辺の将来像は

洲港を経て、新塘、B&Gの海岸部分を計画エリアと考えている。荒

設置、また、道の駅などを考えている。

問 長洲上区からB&Gの周回ランニング道、名石浜のジヨギング道路につながる、そういう意味で、ベンチ、トイレ、散歩道及びジヨギング道路の整備をできる所からしてほしいが。

答 (町長)

今後道路が整備される。あわせて近辺の場所等も整備していきたい。

問 長洲町は、一番多いときは18600人ほどだった。現在は17000人を切っている。長洲町の定住化政策は。

答 (町長)

住宅建設優遇策、転入者の促進策など実施計画にあげている。

新築増改築に補助を

27年度からの実施を検討

問 長洲町は、一番多いときは18600人ほどだった。現在は17000人を切っている。長洲町の定住化政策は。

答 (町長)

住宅建設優遇策、転入者の促進策など実施計画にあげている。

問 上区の通称下墓広場では、子どもたちが自転車の練習をしたり、リレーの練習をしている。また、複数のクラブが毎日グラウンドゴルフをしている。雨よけ日よけの20人掛のベンチはあるが、差し障りがないところででも水洗トイレの整備を願う。

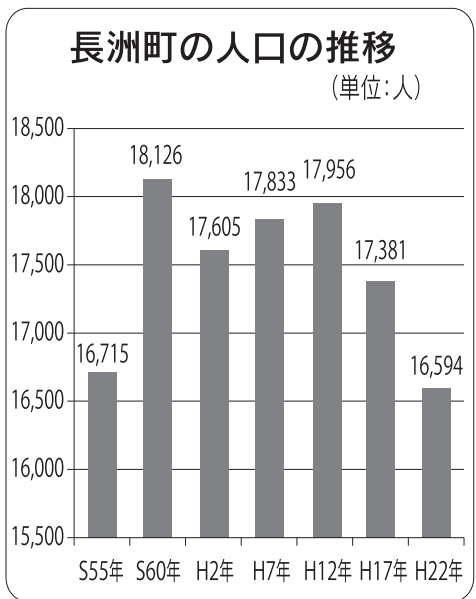
答 (町長)

B&Gまで行く間、数カ所考えている。

問 町内に新たに住宅を取得する方に経済的な支援を今後検討していきたい。

答 (町長)

経済的な支援ならば、町外からの新築、転入、町内家分かれ新築に100万、増改築に30万円の補助を願いたい。



問 優遇策を詳しく。

答 (町長)

町内に新たに住宅を取得する方に経済的な支援を今後検討していきたい。

問 経済的な支援ならば、町外からの新築、転入、町内家分かれ新築に100万、増改築に30万円の補助を願いたい。

答 (町長)

下水道の赤字が解消すれば定住化政策を積極的に打っていきたい。住民も我慢に我慢を重ねた長洲町、定住化政策の一つの柱として、補助を。

問 下水道の赤字が解消すれば定住化政策を積極的に打っていきたい。

答 (町長)

下水道の赤字が解消後、実施できるよう検討する。

問 下水道の赤字が解消後、実施できるよう検討する。

答 (町長)

下水道の赤字が解消後、実施できるよう検討する。



一人で悩まず相談を



川本幸昭議員

自殺・孤立死（孤独死）の原因は何か

健康問題が50%、経済・生活問題が20%

問 14年連続で3万人を超える自殺者、日本社会の痛ましい出来事である。貧困から生まれる孤立死問題、町の現状と対策を求めます。

答 (町長) 昨年は自殺者、孤立死ともありません。自殺対策推進事業や職員

が民生委員等と連携を密にして自殺防止対策を講じていきたい。

問 平成18年は6名、平成19年は3名が自殺されている。この数年の現状は。

答 (福祉保健介護課長) 平成20年4名、21年2名、22年3名で23年

は0です。

問 全国的に3万人から減少しない自殺原因はなにか。

答 (福祉保健介護課長) 町での1件1件についての把握は困難、全国的には健康問題50%、経済・生活問題が20%になっている。

問 自殺・孤立死対策として、ライフレイン業者との連携で電気ガス等の停止の状況

答 授業増に伴い、土曜日登校を検討しているのか

問 ひとり教育の見直しで授業時間が増えている、そのために土曜日登校を検討しているのか。

土曜日授業は考えていない

答 (教育長) 長洲町としては、夏休みを5日間、冬休みを1日短縮して対応する。現在は土曜日授業は考えていない。

を把握して対応するよう厚労省より通達が出ていて、知っているか。

答 (町長) 通達は見えない。もう一つの対策として、うつ病の人が自殺の傾向がある、医療機関との連携を。

問 《小中学校の副読本問題》今年4月より小中学校に放射線について副読本が配付されている。この放射線の副読本については問題点が指摘されている。特に、福島原発事故後に作製されているにもかかわらず、原発事故や放射線についての恐ろしさの掲載が少ない。再考を求めます。

答 (教育長) この副読本の編集には、現場の校長等も参加している。放射線の基礎知識や人体への影響についても掲載されている。児童の発達段階に応じて指導されている。子どもの生命・安全についての教育を進める。

授業増に伴い、土曜日登校を検討しているのか

授業増に伴い、土曜日登校を検討しているのか



放射線の正しい知識を子ども達に



磯野博 議員

町有地それは町民の財産である

答 財産の管理は適切にやっています

問 本町には、有効活用できそうな町有地が見受けられる。保有の状況は。

答 (町長) 平成23年度末時点、本町保有の土地は、4340筆、約132ヘクタール(約399300坪)であり、このうち未利用土地で活用可能と思われる土地は29筆、約2ヘクタール(約6050坪)である。町事業の見込めぬ土地は一般競争入札、隣接地所

有者への売却等を進めていく。

問 更地で売却可能な町有地は、また、売却する取組みは。

答 (総務課長) 5筆の1754・56平方メートル(約530坪)。インターネット公売を考えている。

いると思う。注意書き等の看板も検討していきたい。

問 JRの車窓から見える所に町のPRの看板を出してみてもどうか。町有地の活用については軽快に動くべきではと思うが。

答 (町長) 未利用土地については町民農園等の活用を考え動いてはみたがいろいろと問題があり行き詰まっている。遊休地に本町のPRこれは一つの方法と思う。未利用土地は今後も検討を重ねていく。

問 世間を賑わした生活保護問題、本町での状況は。

答 (町長) 6月1日現在、本町では59世帯82人の方が生活保護を受給されている。

であることから本町については低いと考える。生活保護受給者に就労支援ができるような本町独自の支援策の考えは。

答 (副町長) 総務課、税務課で生活再建の支援等を行っている。幅広く本町もやらなければならぬ。少しずつ取り組んでいる。



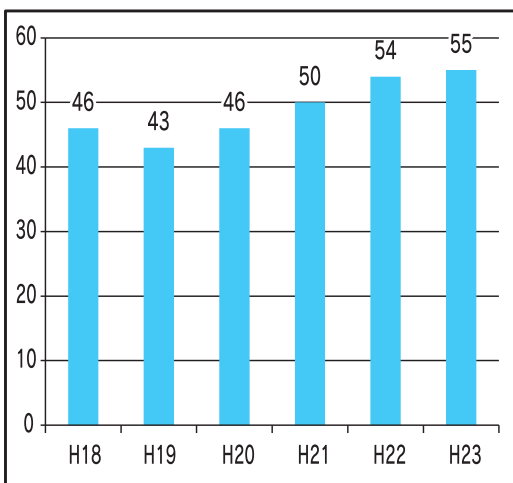
道路予定の町有地、静かに出番を待つ

問 買収済みの道路予定地、計画地などへの不法投棄、不法占有を担当課だけで管理するのは難しいのではないか。対策は。

答 (建設農政課長) (建設農政課長) 担当課の職員はもちろん建設農政課に在籍した職員は把握して

不正受給への対策は

過去において対応は的確に実施されている、発生していない



生活保護世帯の推移

答 (福祉保健介護課長) 人口に対しての割合では本町は0.86%で全国平均が1.64%



本町とそっくりな宇佐市の長洲漁港



浦辺朝章議員

大分県宇佐市長洲との交流を積極的に

答 様々な分野の交流を検討したい

問 宇佐市長洲とは長洲中学同士の交流が行われている。本町と非常に似た町で堤防に面し、漁業や海産物など共通点が多く、小学校や中学校、郵便局、漁協、港等に長洲の名前がついている。また、民間での交流も行われ今後、

答 産業や観光、教育、スポーツなど様々な交流が見込める。行政としての対応はできないか。

問 (町長)

平成20年度から宇佐市立長洲中学校と長洲町立長洲中学校がPTA・生徒会・学校を通じて交流会を開催し、

本年度は、本町より生徒20名、教師3名、保護者7名の計30名で宇佐市長洲中を訪問の予定である。

補助金としてバス借り上げ料全額と宿泊費の半額を予定している。

問 宇佐市長洲との交流は長洲町の活性化にもつながる。今後、商工会とか長洲町の企業や団体との経済交流も含めて進めて欲しい。

答 (町長)

昨年よりライオンズクラブの姉妹締結をきっかけに宇佐市の夏祭りに金魚を提供、金魚すくいを行っている。今後、議員が申された様々な分野で両市町の交流が進むように検討していきたい。

金魚の館の有効利用を

展示会や物産展などを企画

問 イベントの開催状況と集客数は。平日との格差が大きい、対策はあるか。長洲の名物とかを販売するような常設の売店とかできないか。

答 (町長)

5月3、4日開催の「火の国長洲金魚まつり」では、2日間で約2万2千人の来場者があった。館の入場者平均は平日2000人、休日10000人であった。現在、ジャンボ鯉のぼりや、金魚でつながる展示展を期間限定で開催中。これから保育所、幼稚園児の七夕飾りやパッチワークの展示等を行い、

平日の来館も増やしていきたい。常設の売店については、「ひまわり」里による飲み物、金魚関連商品の販売等が行われている。

答 (まちづくり課長)

他にも本町と関係の深い大村市、島原市、宇佐市等の資料や産物など展示販売など利用できないか。



金魚の館でパッチワーク展



フッ素でぶくぶく飲み込んだら駄目よ



樋口エミ子議員

学校でフッ化物洗口は必要か。安全性は？

答 希望者を対象に進めていきたい

問 虫歯予防のために小学校、中学校でフッ化物洗口が実施される計画があるようだが。

答 (町長) 国は歯科口腔保健の推進の法律を平成23年に県は平成22年に歯

及び口腔の健康づくり推進条例を施行している。

町は町内歯科医師、有明保健所等の支援のもと、小学校のなかであくまで希望者を対象に歯の健康から全身の健康へとつながるものとし

て、フッ化物洗口を推進していきたい。

問 フッ素は劇薬。そのため専門家の間ではその安全性をめぐって長い論争が続いている。実はフッ素は原爆生産で余ったもの、産業廃棄物という。虫歯予防に使われたのは今から50年前のこと。町もフッ素は劇薬、毒物であることは既に存じていると思うが、安全性の認識は。

答 (福祉保健介護課長) どんな安全な物質でも量が過ぎれば害が生じる。適切に実施すればフッ素洗口や塗布において中毒害を起こすことは極めて低いと考え

子どもの虫歯は激減しているのに、なぜフッ素を

虫歯の数を少なくしたい考え

問 以前に比べると虫歯の数は今は激減している。フッ素のリスクについての情報が不足している。

成長過程でフッ素が脳内に入ると神経障がい、起き、脳の発育障害、甲状腺機能の異常、IQ低下など、さまざまな病気がフッ素によってもたらされているとの調査結果がでていいる。WHOも6歳未満の子どもには禁忌となつていいる。統計での0.1本虫歯を減らすため、薄めるとはいえ、10年以上も教育現場で毒性が強い薬物を子どもの口に入れる

のは問題がある。

答 (町長) 22年度の1歳6カ月の虫歯数は0.07本で県下で23番目、3歳児で1.67本で33位、12

歳児で0.48本で県下で2番目。熊本県は全国で最後から4番目と一人当たりの虫歯の保有率が多い。フッ素を含むものは間違えると毒物になるものと理解している。あくまで希望者を対象とし、虫歯の数を少なくしたいという考えのなか進めていきたい。

平成23年度一人平均むし歯数(本)

市町村名	3歳児	5歳児	小学1年生	小学4年生	中学1年生	中学3年生
玉名市	0.99	2.48	0.09	0.48	0.87	1.57
荒尾市	2.15	3.78	0.23	0.80	1.97	2.12
玉東町	0.40	2.09	0	0.25	0.83	1.35
和水町	0.80	1.72	0.01	0.19	0.60	1.27
南関町	1.55	2.64	0.21	0.71	0.93	2.49
長洲町	1.04	2.18	0.06	0.51	0.67	1.28

※ 3歳、5歳児は乳歯。小学生以上は永久歯。



通称 ぼたもちさん

問 新聞、テレビで報道された腹赤地区にある通称「ぼたもちさん」が柳川藩主の正室閻千代姫君で歴史上5本の指に入る姫君たちの一人でその姫君の慰霊塔であると解説された。早速現地を見学したが場所が整備されていない



宮本哲太郎議員

通称「ぼたもちさん」の所在地を公園に！

答 関係者の意見を聞き、対応する

答 (教育長) 町の文化財は21あり、保存活用に必要な措置を講じる。今回のマスコミ報道や「のしこら」祭りのオリジナルTシャツのデザインになった柳川藩主立花宗茂の正室閻千代やその墓石である「ぼたもちさん」が活用され歴史的価値が生かされた。文化財の適正な保存と活用を図るため所有者、地元の人、町文化財保護委員の皆さんの意見を聞き文化財の向上に努める。

問 (町長) NHKのテレビ放送で立花閻千代さんの話が放映されることは町にとっても非常に光栄であると認識している。私も放送の前日に柳川の立花氏と話をさせてもらい今後とも町と協力関係をつくっていききたいと話をした。町も

問 (生涯学習課長) 閻千代姫君の慰霊碑がいつまでも私有地にあるのは町として恥ずかしいと思わないか、土地を町が買収し公園化出来ないか。

答 (建設農政課長) 拡幅計画はない。駐車場の整備は考えているのか。

答 (町長) 北側に私有地があるので検討していく。

問 (町長) 進出道がせまいがどう思うか。

答 (生涯学習課長) 地元、所有者、町文化財保護委員の意見を聞き、対応していく。



のしこらTシャツ2012 完売



市原一広議員

「落書き」のない、きれいな町へ!

【答】 荒尾警察署と連携を図り、減少につなげる

飲酒運転の撲滅を!

今後とも職場全体で取り組む

問 今年度の予算で、また重点施策で『花いっぱい運動』を展開されようとしている。それは町をきれいによろ、環境にやさしいまちをつくらうという思いからではないか。だがその一方で町内の『落書き』は日毎に増え続け、美化を著しく損ねているのも現状である。町の対応はどうなっているのか。

答 (町長) 町内の落書きについて把握しているところでは、公共施設、民間含め32カ所確認している。落書きは犯罪行為であり、美観を損ねるだけでなく犯罪を誘発する恐れもあり見過ごしにできない。今まで落書きの犯人の特定には至っていない。また落書き違反については周知されていない状態であり今後広報等での周知徹底また荒尾警察署とも連携を図り落書きの減少につなげていきたい。

問 落書きが増えていることも残念だが、公共施設に書かれたままの状態で放置されていることも非常に残念だ。

答 (町長) 公共施設は町の財産であり住民の財産だ。落書きされていたらすぐに消すという気持ちを職員が持つよう、心掛けていきたい。

問 今後とも職場全体で取り組む

問 飲酒運転による不祥事、また事故が後を絶たない。住民への周知徹底はもちろん、町職員また学校現場では防止策や教育は行われているのか。

答 (町長) 公務員を含めた飲酒運転の摘発、事故が後を絶たない状況であり、住民に対する取り組みとしては交通安全協会や関係機関と連携し定期的な街頭キャンペーンを行い啓発活動を実施している。町職員に対しては節目節目に注意喚起を図っており今後とも職場全体で取り組んでいきたい。

答 (教育長) 県教育委員会からも教職員不祥事根絶を目指し資料等配布されている。飲酒運転防止についても規範意識の徹底、研修の充実、管理職等からの声かけ、また自己分析等を行うことで防止に努めており、学校の組織体として撲滅に取り組んでいる。



落書きは犯罪!!





交通量の多い通学路

問 街路灯の設置がない横断歩道が町内には12箇所ほどあり暗くて危険、夜間の交通安全対策について町の対策は。

答 (町長) 夜間、町内の横断歩道のある所で暗い箇所がある。歩行者の安全を保つうえで十分とはいえない現状である。今後は管理費の安い

LED照明灯も検討し取り入れて街路灯等を増設することを考えている。また、町では反射帯を積極的に高齢者へ配布を行い歩行者の安全確保を図り、横断歩道については再度調査する。交通事故を防ぐため、教育の啓発の面と、ハーダの両方をあわせて実施する。また、運転士には危険箇所を周知する。



他町の健康マラソンの風景

問 近年、登校班の見守りが車にはねられ死亡する事故が相次いでいる。本町においても、通学路の危険箇所が多い。対策を。

答 (町長) 児童の安全確保のため各学校の通学路見

直しと、再度危険箇所調査をしそれを元に今後安全対策を協議する。

問 危険箇所はあがっているか。また具体的な要望は。

答 (町長) 各学校から危険箇所はあがっている。通学

路の変更については一部変更されている。

問 町、学校、PTA、警察、保護者等連携をとり通学路危険箇所マップを作成し全世帯に配布すべきでは。

答 (町長) 町内各小学校では、通学路の危険箇所マップを作成し、危機意識をもつて見直しを図り交通安全に努めている。

《健康マラソンの実施を》

問 近年、近隣の自治体において健康マラソンが開催されている。本町においては金魚の館も再オープンしたこともありスポーツ振興と健康づくりをかねた子どもや大人も参加できる健康マラソン大会を企画すべきでは。

答 (町長) 健康マラソンについては大会役員の確保など準備が必要であり今の町の状況では厳しい。港オアシス構想、新山から名石浜までずっと散歩していく若しくはマラソンをする、そういうのが定着してから次のステップに進ませていただくように考えている。



浜村芳光議員

通学路の安全対策の強化を

再度危険箇所を調査する



池上 満則 議員

節電対策はいかに

答 節電マニュアルを作成する

問 電気事業者は24年7月2日から9月7日までの午前9時から午後8時まで、22年同月使用最大電力から10%以上の節電をお願いするとの報道である。町の対応は。

答 (町長) グリーンカーテンの設置、冷房時間の短縮、照明を控えるなど実施、23年は町施設全体で約7%の節電であった。24年は状況に応じて冷房時間の短縮、照明の消灯、照明のLED化に取り組む。

問 節電は普段の心がけ。各施設に責任者を置いて「節電マニュアル」で実行しているか。

答 (町長) 各施設に応じたマニュアルを作成する。



節電対策にグリーンカーテン

長洲町のゆるキャラ製作は

最優秀品を決定し、その着ぐるみ製作を打ち合わせしている

問 町の情報PRなどに使用する「ゆるキャラ」作成と作成後の利用方法の考えは。

答 (町長) 町のマスコットキャラクターいわゆる「ゆるキャラ」は5月末日締切り、336点応募があり審査会で最優秀と優秀2点を選び、着ぐるみ製作の段階。完成後は、庁内に活用促進検討委員会を設け効果的なPRを目指す。

問 委員会の構成は。

答 (まちづくり課長) 町長、副町長、総務課長、まちづくり課長、商工会会長、デザイナー事務所から1名の計6名。

問 審査の方法は。

答 (まちづくり課長) 一次審査で各委員が5点選び、二次審査で30点の中からデザイナー事務所委員のアドバイスのもとに総合的に審査した。

問 6名で一次、二次の審査と選定までしている。審査のスタートが間違っている。何故、一次審査は職員にさせない。そして二次審査で何点かを選び、それを

答 (まちづくり課長) 小学生に人気投票させると子どもたちは楽しい気持ちで心に刻まれると思う。これをやり直す考えは。

ろあり、指摘された方法は審査委員会で検討したが、夏祭りで公表するので着ぐるみ製作に時間的制約があるので早期に審査し、選定した。



長洲のゆるキャラ誕生

公共下水道特別会計

14年連続の繰上充用

賛成9 反対3

平成24年第1回臨時会が
5月25日開会し、当日閉会した。

全議案可決された。

下水道特別会計

〔内容〕

歳入歳出予算の総額に4億1582万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ17億8941万円とする。

〔主な質疑〕

〔問〕 (福永議員)

発生もしていないのにどうして前年度繰上充用金が当初予算で計上されているのか。

〔答〕 (総務課長)

当初予算で計画に基づいた繰り出しを一般会計から下水道会計に受けるといふ事を今まで行ってきた。好ましくない計上の仕方ではあるが緊急的という事で計上している。

〔答〕 (町長)

指摘の点は認識している。来年度からは別の方法で提案していく。

〔問〕 (川本議員)

平成10年から続く繰上充用の見解を。

〔答〕 (町長)

下水道の赤字も先が見えてきている状況である。赤字脱却後、本町の発展を目指していきたい。

熊本市町村総合事務組合規約の一部変更

〔内容〕

熊本市の政令指定都市の移行に伴う住居表示の変更

全員賛成 可決



町民のがまんもあと少し(長洲町浄化センター)

国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認

〔内容〕

東日本大震災に係る被災居住用財産の敷地に係る譲渡期限の延長の特例。

全員賛成 可決

一般会計補正予算の専決処分の承認

〔内容〕

平成23年度内に事業完了していない町道等整備事業費を繰越する。

全員賛成 可決

熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更

〔内容〕

熊本市の政令指定都市の移行に伴う住居表示の変更。熊本市の次に「東区」を加える。

全員賛成 可決

長洲町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認

〔内容〕

地方自治法及び国有財産等所在市町村交付金の一部を改正する法律が公布されたため。

〔主な質疑〕

〔問〕 (川本議員)

住宅用地の特例の廃止、国県からの説明は。

〔答〕 (税務課長)

全国的な地価等の下落により、過去最大の固定資産税等の減収が見込まれる。一般住宅用地の特例を平成26年度で廃止する。今回の改正は本町においてさほど影響はないと見込んでいる。

〔答〕 (町長)

新規住宅取得、子育て支援等の税制の優遇措置等、国県に要望していく。

賛成10 反対2 可決

国民の権利を支える行政サービスの拡充を求め

議員
提案
議提

国へ意見書提出

【請願の趣旨】

国が進めている「地域主権改革」により、国の出先機関の廃止・地方移譲や広域行政組織が進めば、地方における行政サービスが大幅に低下し、国民・住民の生活に支障を来すばかりか、地域間格差は拡大することが懸念され、行政の効率化によって、国民の利便性や権利保障の後退を招き、住民や地方自治に犠牲を強いるものです。

国民・住民の生活を保障するための行政サービス等の拡充に向け、次の事項の実現を強く求めます。

1. 地方に犠牲を強いる「地域主権改革」は行わないこと
2. 行政サービスの低下を招く国の地方出先機関を統廃合しないこと

【総務保健福祉常任委員会での審査結果】

採択すべきものと決定

【本会議】

委員会での審査結果を委員長が報告を行い、全員賛成で採択

【議提第2号】

国民の権利を支える行政サービスの拡充を求める意見書を議員提出議案として提出し全員賛成で原案可決された。

【国へ意見書提出】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣他関係大臣あてに意見書を提出

追跡
レポートあん質問は
どがんなった

平成23年9月一般質問

医療費助成の対
象年齢の拡大を
考えては。答
弁

少子化対策の重要施策と考える。財政状況を見きわめ進めていく。

その後

小学校6年生まで医療費助成が拡大された。

特集

議会50年の歩み

昭和56年～60年編

健康福祉センター落成

昭和56年7月に潮湯を主体にした長洲町健康センターが完成し、同年8月1日開館した。
昭和56年第2回定例会において「長洲町健康福祉センター条例の制定について」が提案され質疑がなされている。

当時の質疑

問 この健康福祉センターは教育委員会の所管で運営するということだが、内容の説明を。

答 総合グラウンドがそこにあり、プールもあり、体育館もありますので、この管理はこれは、ぜひ教育関係の社会体育の場と考えておられます。

問 隣にプールがあるうが、体育館があるうと、健康福祉センターということであれば、福祉課の所管におくべきだという気がするが。町長どうか。

答 町民の体位の向上と健康の維持がこれ、私は優先します。福祉というものは全般

的なものですから、あくまでもこれは、教育委員会の所管であろうと思います。

問 この施設の中には温泉センターみたいなものがあるのか。

答 海水を利用して、潮湯を設けております。それと百畳敷の大広間、トレーニングルーム、外にゲートボールコート4面を設置しております。



現在の健康福祉センター

長洲町のあゆみ（昭和56年～60年）年表

昭和56年

- 2月 六栄小学校体育館落成
- 3月 長洲町総合振興計画策定（第2次）
- 下水道汚泥処理棟落成
- 向野児童公園完成
- みなとちびっ子広場完成
- 5月 福永一實氏町長就任
- 7月 健康福祉センター落成
- 9月 長洲霊堂落成
- 町議会議員選挙

昭和57年

- 3月 下水道終末処理場落成
- 梅田児童公園落成
- 長洲町・岱明町清掃センター落成
- 9月 健康福祉センター環状線バス運行開始
- 橋上 長洲駅オープン
- 10月 長洲町合併25周年

昭和58年

- 3月 腹赤児童公園完成
- 5月 「議会だより創刊」（第1号）
- 新山跨線橋完成
- 8月 長洲中学校校舎落成

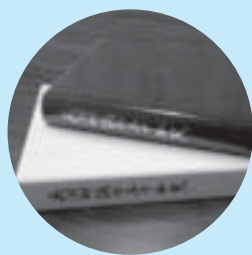
昭和60年

- 3月 六栄小学校校舎落成
- 長洲町芝生広場完成
- 4月 町民植樹祭（一先宮公園）
- 5月 宮田靖次町長就任（1期目）
- 9月 町議会議員選挙
- 10月 第1回健康まつり
- 12月 六栄小学校創立100周年

昭和59年

- 3月 長洲町テニスコートオープン

長洲町議会50年史 好評発売中



ぜひ、ご家庭に1冊ご購入ください。

価格3,000円
(税込)

町民のひろば

新任人権擁護委員の紹介



入口 秀記さん (磯町区)

〈抱負〉

人権擁護委員を拝命するに当り、その任の重さを痛感しております。

私の基本的な考え方は、相談に来られた方々に対して、どこまでその人の立場、思いに近付き、悩みを共有化出来るかということです。そのうえで課題に対応していきます。

微力ながら、関係職員、諸先輩の方々のご指導のもと責務を果たしてまいります。

〈ひとこと紹介〉

昭和58年からボーイスカウトの指導者として長年にわたり、青少年の健全育成と社会教育活動に尽力されている。

※入口さんの任期は平成24年10月からです。

町民の声



長洲町剣友会

長洲町剣友会は小学生を対象にB&Gスポーツセンター武道場で稽古を行っています。違う学校、違う学年でも仲が良く、とてもまとまりがあります。

夏は暑く冬は寒い中、子どもたちは一生懸命稽古に励んでいます。きつくて厳しい稽古ですが、それを乗り越え頑張ることで心身ともに日々たくましく成長していけるものだと感じています。

また、保護者や関係者の方々がまわりで支えてくださっています。おかげで子どもたちも剣道をする事ができ、大変感謝しています。この感謝の気持ちを忘れずに、今後も子どもたちの元気な声を届けていきたいと思ひます。

毎週、火、木、金曜日、練習をしています。お気軽に見学にお越しください。

ひと言

「これまで経験したことはない雨」が九州を襲い各地に甚大な被害をもたらした。

私は同級生を含む有志と共に阿蘇内牧に赴き、復興ボランティアとして参加した。被災直後という事で町全体がまだまだ手付かずの状況であったが九州全域からボランティアが続々と現地入りしていた。

今回身近で起きた災害を目の当たりにし、猛威を振るう自然の恐ろしさを

と人と人との繋がりが、温かさを身にしみて感じた。一日も早くいつも通りの生活に戻ることを願う。必ず阿蘇は復興すると信じている!!

(磯野)

広報委員

委員長 吉田 正

副委員長 浦辺 朝章

委員 磯野 博

委員 宮本哲太郎

委員 徳永 範昭

委員 福永 栄助

発行責任者

議長 松井 一也

皆さん傍聴に来てください

次の定例会は

9月13日(木)
開会の予定です

※一般質問の内容は町ホームページで閲覧できます。

■問い合わせ先は

議会事務局

電話 78-3291

手続きは住所・氏名・年令を書きだけです